

会報 京都マイコン研究会

第74号

(通算91号)

1993年9月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or ニュース

会員のプロフィールを紹介

今夏は冷夏で終わりましたが、そのかわり残暑が厳しいようです。夏のバカンスは如何にお過ごしなされましたか。

先般の会報でご案内申し上げました様に、会員のプロフィール連載の一番バッターに大先輩の若林實様にご執筆をお願い致したく、ご連絡を申し上げました。

毎号皆様のプロフィールのご紹介を致しますので、各会員がいかにしてコンピュータと拘わり悪戦苦闘し、周りの人たちがどの様に感じているのか、エピソードや失敗談をお願いします。

それまでに、インプットをよろしく。

(圓口)。

会告 !!

夏休み

★ 次回例会

開催日 9月4日(土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30~

『 ちょっと一言 』

会員のプロフィールは下記の範囲でエピソードも交えてお願い致します。

1. 最近のパソコンに対する感想または批判。
2. 本会への入会年月。
3. 日常的に使用中の日本語変換の種類と主なソフト。
4. 現在使用中のハード環境(本体、周辺装置、メモリなど詳しく。)
5. 今後の購入予定のハードと関連ソフト。
6. 本会と部活動への希望と期待など。
7. 本会の運営で、印象に残った活動行事。

プロフィール

No. 1

わか ばやし みのる
若林 實

昭和32~3年頃のある日、商用で大阪・松屋町筋を歩いていると、賑わしく幟の旗を閃かせて5・6台の大型トラックが超スローで南下していました。各荷台には頑丈な梱包の周りをまるで嫁入り道具のように派手やかな天幕が張られて「XX社納入 電子計算機」と染め抜かれていました。当時の庶民知識では電算機なるものは超一流企業で使われている代物で、ものすごい威力を持っているらしいと言うぐらいのもので、従って小生の仕事や生活には全く無縁の存在でしたが、この光景が余りにも鮮烈だったのでそれ以後、コンピューターとは一体どの様な仕組みで、どの様な仕事出来るのか位は知っておきたいなあ、と言う思いが頭の隅にあったようです。

時は流れて、昭和50年前後と思いますが、マイクロプロセッサなるものが発明されて個人でも扱えるコンピューターが出現し、また身近かな家庭電化製品の制御にも使われるだろう、との記事が頻繁に出始めた頃、日本マイコンクラブよりマイコン入門書出版の新聞広告を見つけました。

「オームの法則を知ってをれば誰にでも理解でき、組み立てられる」との見出しにマンマと引っかけ、全部で6冊程1年間掛かりで送って来ましたが、どれを読んでもチンプンカンプン。同クラブにも同時に入会して、会報なるものが毎月送って来ましたが、これも無味乾燥。これは文系者が何度読んでも無駄と悟り、一計を案じて電気技術系の友人たちに読ませて、小生に解かるように解説を依頼してみたが、皆全然わからんと言いだす始末。暫くの間は、これ以上は無駄な努力とすっぱりと諦めていましたが、ある日、圓口氏から突然の電話があり、日本マイコンクラブの名簿より何人かに当たってみたが、皆さん各々悪戦苦闘の様子との事で、勉強会に参加しないかとのお誘いがありました。最初何人集まったのか記憶は定かではありませんが、5~8人位だったと思います。皆それぞれレベルがばらばらで、従って勉強の目的もハードとソフトまちまちだったので、1年程の間、運営方針が定まらない状態でした。まずマイコンとは何かから始まって、マイコンで何が出来るかの議題を巡って、誰も明快な意見を持つ者が無く結論を見出だすには程遠い状態が暫

く続いていました。顧みれば正に摸索と混沌の時期で、機種及びソフトがPC系に収斂されて行くまで試行錯誤の運営が続いたように思います。特にハード面でシャープ・日電・日立・富士通の8ビット各機種が続出、乱立した一時期、会の運営も困難を極め、勉強のターゲットを幾つかに絞ることさえ不可能でした。又この時期マスコミが一斉にはやし立て、啓蒙活動をも行なったせいもあって、中学・高校・大学生及び一般社会人に普及認知され出し、当会員数も急増し40人~50人に達したこともあります。この頃対外活動も試み、中学生を対象にマイコン教室を幾度か開きました。やがて巷のマイコン熱も落ち着きを見せ、機種がPCに絞られてくると、当会の運営もようやくスムーズにまとまるようになったと思います。会員数も一旦減少したものの、今日に至るまで大きな変動はありません。また、それまでの勉強会と言う堅苦しさを出来るだけ排除し、サロンのような雰囲気を取り入れてマイコンに関する情報の提供、交換、収集のコーナーが組み入れられるようになったのも此の頃からでした。とりわけ、この種の会の運営の成否に拘わる会場の設定や研究部会の運営、また一泊研修や対外活動の支援に並々ならぬご尽力を賜った方々に心から感謝しています。各会員それぞれが親切で奉仕的で暖かい心の持ち主であることも、当会の和気あいあいの雰囲気を支えている大きな要因であると確信しています。

私事ながら、小生今年をもって廃業すべく目下業務引き継ぎに忙殺されています。従って来年春頃より新機種を揃えてじっくりとマイコンの勉強をしたいと思っています。その節は、出来るだけ長期使用に耐えられるシステム構成について、皆様のご教示を賜わりたく今からお願いします。近年のハード・ソフトの変化のスピードにはついて行けません。が、パソコン通信、ファックス等のマルチワークを兼ね備え、且つコンパクトな機種があればと思っています。



第3回

MS Visual Basic プログラミング入門



↑

パソコンで有名なホスト局で、Windows用のAPが毎月、2~3件以上発表されているのを見ると、何かを作り上げてUPしたい気持ちになるも課題を考える時間が無い。

皆さん、簡単な課題の提案を希望します。

今回は、簡単な宿題を2つ、出題しますので、10月の例会で解答の発表を期待しています。

問題1. FORMをCRT画面の半分位の大きさに広げ、そこに「京都マイコン研究会」と表示させる。更に、文字フォントを「ゴシック」とし、文字色を黒以外に指定する。更に、背景色も変更する。

このプログラムを起動したら、5秒後に文字が表示され、約20秒経過したら画面から消す。

問題2. FORMの上に、ラジオ・ボタン2コを配置して、そのボタンの名称をそれぞれ「本日の年月日表示」、「只今の時刻」とし、そのボタンを押せば、FORM画面上に数字が現れるようにする。

出来れば、数字の後にそれぞれ、年、月、日、時、分、秒が付けられたら、最高のプログラムです。

※ 出題者本人が、正解できるか疑わしい。言い訳を許して貰えるなら、C言語でのROM化の仕事が解答期限までに終わりそうで無いため。

文責：河原友三郎



MS-Video Windowsの紹介

Video画像の再生APが、Windows V.3.1 に付いているのを知らずに「日電・MS-Video Windows」を買ってしまった。でも、ポケット・マネーの損害が大きいと思ったが、デモCD-ROMが付属していたので落胆度合いは軽減できた。

内容は、

1. 動画の再生 (Windows V.3.1に付属している)
2. 動画の編集
3. 3種類の圧縮方式 (詳細は、メーカー資料参照)

付属のCD-ROMを再生すると、音声とともに映像が出る。プレゼンテーションやゲーム、動画書籍などに最適だ。別売のビデオキャプチャボードを使うと、動画や音声をファイルに出来るのであるが、そのボードが何と、¥85,000もする。ビデオ・カメラも持っていないし、これはパスだ。

今、持っているCD-ROM装置では低速だから、昔の無声映画のようにコマ送りがクイックする。そこで、APは一旦、HDDへ転送して見ている。

この動画編集操作を習得するには、相当な暇が必要だ。

(TOMOPPY)

雑談

● 日電・ウインドウアクセラレータボードのアップグレードは高いか安か。

日電からアップグレードのお知らせが届いた。現行解像度が1024X768 dot が、1280X1024 dot の表示が可能にするものだ。

内容は、現在、VRAM 2MB を4MBにするのであるが、消費税込みで¥56,650もするのだ。VRAMなんて何故高いのでしょうかね。

(TOMOPPY)

● FAX/MODEMの買い替え。

FAX兼用のモデムが各社から出揃った。市場調査の不足で、今、晩春に買った物が失敗であることが、溝口さんから指摘されてがっかりした。そこで発奮して、最近、SONYのSMD-50を手にいれた。このモデムは、電話、専用FAX、パソコンへの接続があり受信時、自動で判断して切り替える。また、パソ通のHOST局の機能がROM化されている。何とCPUは、HD64180を使用しているのだ。そして、RAM領域が1MBあり、受信局として使える。パソコンをONして置かなくてもメールの受信が可能だ。開局できたら、お知らせするので是非、アクセスをして下さい。

現在使用している、「HALFAX MNP5」が必要なくなりますから、ご希望の方は連絡下さい。(9月末まで)

(TOMOPPY)